

令和2年度 新入生に贈る言葉

新入生のみなさん。ご入学おめでとうございます。在校生ならびに教職員一同、心から歓迎いたします。今年度は、商船学科45名、電子機械工学科43名、情報工学科43名、専攻科生産システム工学専攻9名、そして留学生2名の皆さんを迎えることができました。

この度は、誠に残念ながら、入学式の中止という苦渋の決断をさせて頂きましたこと、改めてご理解頂きますようお願いいたします。

さて、本科新入生のみなさん。高専での学びで最も大切なことは自分の力で考えることです。そのためには、自ら進んで知識を吸収することが必要です。また、今日、社会が求める人材に必要とされているものは技術的能力＋アナログの人間力です。そのためにも、いろいろな事に積極的に参加し、大いに楽しみながら多くの友人を作ってください。高専時代にできた友人は、一生の宝物となるはずです。そして、本校の学生であることに誇りを持ち、充実した高専生活を送ってください。

専攻科入学のみなさん。技術者としての自己研鑽に励むと共に、人格向上に努め、国際的に通用する社会人となることを目指して下さい。2年間はあっという間です。一日一日を無駄に過ごすことなく、大切にしてください。

今、世界は、そして人類は、未曾有の事態に陥っています。それは何を意味しているのでしょうか。きっと、地球との共生において人類の知恵が試されているのだと思います。そして、一人一人が今何をすべきか、厳しく問われているのだと思います。みなさんも、楽しい明日を迎えるために、今を大切に生きてください。

桜が満開の学び舎での入学式を迎えるはずだった皆さんにとって、想像もしなかったスタートとなりましたが、前を向いて頑張ってください。

今、教職員一同、安全・安心な学生生活を送れるよう、準備を進めています。みなさんも、体調管理と健全な生活リズムの維持に努めてください。そして、いつでも学校に来られるように準備をしておいてください。

学校の対応などについては、随時発信しますので、さくら連絡網や本校HPで確認してください。

それでは、皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。

令和2年4月吉日

弓削商船高等専門学校長 石田 邦光